

製鉄記念室蘭病院・大淵さん、笹谷さん



アドバンス助産師に認証された大淵さん(右)と笹谷さん

アドバンス助産師認証

「安全で安心なケア提供」

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の大淵香織看護課長(48)と、笹谷織恵助産師(44)が、助産師の実践的な能力を統一基準で評価する「アドバンス助産師」に認証された。2人は、「母子に安心して安心なケアを提供できるような環境整備とスタッフの教育に、一層励んでいきたい」と話す。

「アドバンス助産師」は、日本助産評価機構が認証する制度。2015年(平成27年)12月に認証がスタート。妊産婦から希望が多い「助産師によるお産」を増やすことで、不足する産婦人科医師の負担を軽減し、医師が医療を必要とする症例にだけ専念できるよう狙いもある。全国で約3万4千人の助産師のうち、16年12月現在で計5440人(道内302人)が認証されている。

大淵さんと笹谷さんも、出産介助や新生児検診、妊婦検診など、一定以上の経験と実績を積み重ねた上で、新生児蘇生法や出産時の胎児モニタリング法などの専門的な研修を受け、試験に合格した。2人とも「安全な妊娠、出産、育児を応援できるよう頑張りたい」と意気込んでいる。

同病院の16年の分娩件数は計507件。アドバンス助産師の所属は、助産ケアの質の保証を受けた格好となるが、前田病院長は「より安心して出産していただけることを第一に、スタッフへの教育的・指導的な関わりや産科医の負担軽減にも期待したい」としている。

(松岡秀宜)